

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2014-520172(P2014-520172A)
 【公表日】平成26年8月21日(2014.8.21)
 【年通号数】公開・登録公報2014-044
 【出願番号】特願2014-511369(P2014-511369)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 59/24 (2006.01)
 C 0 8 L 63/00 (2006.01)
 C 0 8 K 9/06 (2006.01)
 H 0 1 B 3/40 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 59/24
 C 0 8 L 63/00 C
 C 0 8 K 9/06
 H 0 1 B 3/40 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年5月31日(2016.5.31)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 少なくとも1種のジビニルアレーンジオキシド、
 (b) 構成成分(a)のジビニルアレーンジオキシドと異なる少なくとも1種のエポキシ樹脂、
 (c) 少なくとも1種の無水物ハードナー、
 (d) 少なくとも1種の 0.5 W/mK を超える熱伝導率および 10 kV/mm を超える電気絶縁値を有する、熱伝導性および電気絶縁性の充填剤、および、
 (e) 少なくとも1種の硬化触媒を含む、電気装置のための電気絶縁物としての硬化性エポキシ樹脂配合組成物であって、硬化時に、少なくとも 80 の Tg、少なくとも 65 MPa の引張強度、少なくとも 20 kV/mm の誘電強度および少なくとも 5 E + 15 オーム-cm の体積抵抗率を含む特性のバランスを有する硬化生成物を提供する、エポキシ樹脂配合組成物。

【請求項2】

充填剤が充填剤処理で処理された充填剤を含む、請求項1に記載のエポキシ樹脂配合組成物。

【請求項3】

充填剤がシランで処理された充填剤を含む、請求項2に記載のエポキシ樹脂配合組成物。

【請求項4】

反応性希釈剤、柔軟化剤、加工助剤または強化剤を含める、請求項1に記載のエポキシ樹脂配合組成物。

【請求項5】

200 mPa-s から 20,000 mPa-s 未満の注型温度での粘度を有する、請求

項 1 に記載のエポキシ樹脂配合組成物。

【請求項 6】

(a) 少なくとも 1 種のジビニルアレーンジオキシド、(b) 構成成分 (a) のジビニルアレーンジオキシドと異なる少なくとも 1 種のエポキシ樹脂、(c) 少なくとも 1 種の無水物ハードナー、(d) 少なくとも 1 種の充填剤、および (e) 少なくとも 1 種の硬化触媒を添加混合することを含む、電気装置のための電気絶縁物としての硬化性エポキシ樹脂配合組成物を調製するためのプロセスであって、エポキシ樹脂配合組成物が硬化時に、Tg、引張強度、誘電強度および体積抵抗率を含む特性のバランスを有する硬化生成物を提供する、プロセス。

【請求項 7】

(i) 請求項 1 に記載の組成物を提供するステップ、
(i i) 前記請求項 1 に記載の組成物を基材に適用するステップ、および
(i i i) 前記基材および組成物を硬化することで絶縁材料を形成するステップを含む、電気装置のためのエポキシ絶縁性材料を調製するためのプロセスであって、生じる絶縁材料が、70 以上の運転温度に必要とされる電氣的、機械的および熱的特性を含めた必要特性のバランスを有する、プロセス。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の硬化性エポキシ樹脂配合組成物より製造される生成物。

【請求項 9】

70 以上の運転温度に必要とされる電氣的、機械的および熱的特性を含めた特性のバランスを有する、絶縁材料、ポッティング材料または注型材料を含む、請求項 8 に記載の生成物。

【請求項 10】

電気装置を含む、請求項 9 に記載の生成物。

【請求項 11】

電気装置が電力変圧器を含む、請求項 10 に記載の生成物。

【請求項 12】

電気装置が乾式変圧器を含む、請求項 11 に記載の生成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

本発明のジビニルアレーンジオキシドモノマーの上記構造 I、II、III および IV において、各々の R1、R2、R3 および R4 は、個々に、水素、アルキル基、シクロアルキル基、アリール基もしくはアラルキル基；あるいは例えばハロゲン基、ニトロ基、イソシアネート基、または R がアルキル、アリールもしくはアラルキルであってよい RO 基を含めて、H₂O₂ 耐性基であってよく、x は 0 から 4 の整数であってよく、y は 2 であってよく、x + y は 6 以下の整数であってよく、z は 0 から 6 の整数であってよく、z + y は 8 以下の整数であってよく、Ar は、例えば 1,3-フェニレン基を含めて、アレーン断片である。加えて、R4 は、エポキシド、イソシアネートまたは任意の反応性基を含めて、反応性基（単数または複数）であってよく、Z は、置換パターンに依存して 0 から 6 の整数であってよい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0109

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0109】

【表 1】

表 I-配合組成物

実施例	エポキシ (g)	1MI (g)	NMA (g)	ECA100 (g)	石英 (g)
比較A	67.4 ^a	0.67	63.8	--	218.75 [#]
比較B	77.05 ^a	0.77	72.95	--	250.0 ^{\$}
実施例1	49.25 ^b 12.31 ^d	0.73	68.96	--	218.75 ^{\$}
実施例2	58.83 ^c 14.71 ^d	0.90	84.93	--	265.63 ^{\$}
実施例3	69.64 ^c 7.74 ^d	0.86	81.13	--	265.63 ^{\$}
実施例4	75.49 ^c 3.97 ^d	0.83	79.07	--	265.63 ^{\$}
実施例5	64.45 ^c 7.16 ^d	0.79	36.04	36.04	280.5 ^{\$}
実施例6	69.83 ^c 3.68 ^d	0.77	35.11	35.11	280.5 ^{\$}

a. D. E. R. 332

b. D. E. R. 383

c. D. E. N. 425

d. DVBDO

\$. SILBOND (登録商標) W12EST

. MILLISIL (登録商標) W12